

研究課題名	法医剖検例における血圧制御因子および血管内皮機能の解析
研究の意義・目的	心臓性突然死や窒息などの死因では、明らかな梗塞巣や外傷がみられない場合、一般に剖検所見としては急死の兆候のみを示し、死因鑑定では苦慮することがあります。そのような場合に、生化学分析などによる診断マーカーの測定は、死因鑑定において病態を客観的に評価できるため有用です。また、死戦期においては血圧の急激な変動に、血圧制御因子が影響している可能性が考えられます。さらに、急激な血圧変動の結果、血管内皮機能に大きな影響を及ぼしている可能性もあります。本研究では、血圧制御因子および血管内皮機能への影響について解析を行い、新規法医診断マーカーの確立や病態生理解明を行います。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2031 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2010 年 1 月～2030 年 12 月に大阪公立大学大学院医学研究科法医学教室で解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	法医解剖において死因究明の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液、尿、心嚢液、脳脊髄液、眼房水、心臓、肝臓、腎臓、副腎、血管内皮】 鑑定情報：【年齢、性別、死因、死後経過時間、発病経過時間などの基本情報、生化学検査、病理学的検査、中毒学的検査により取得された情報】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科法医学のみで行います。 【研究責任者】谷 直人
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや体液・組織試料（血液、尿、心嚢液、脳脊髄液、眼房水、心臓、肝臓、腎臓、副腎、血管内皮）は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	剖検情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 谷 直人 電話番号：(06) 6645-3767 メールアドレス：gr-med-legalmed@omu.ac.jp

